

(会議の経過) 第3回山崎南中学校区 学校規模適正化・幼保一元化に係る地域の委員会

発言者	議題・発言内容
委員	3「今後における学校規模適正化、幼保一元化の進め方について」だが、この
委員	件に関して副会長から戸原地区としての話があるので聞いていただきたい。
委員	戸原地区の保育所に関する取り組みについて説明させていただく。戸原地区で
委員	は昭和49年に建築された戸原保育所が老朽化し、また手狭な保育環境である。
委員	旧山崎町時代に何度も建替えを要望している。用地については、ほ場整備の中
委員	で確保している。昨年8月の第2回地域委員会で、市としての具体的な案を作り
委員	次回の会で示して欲しいとお願いしていた。10月の行政懇談会の時にも具体
委員	的な案を早く出して欲しいと要望したが、市の答えは、検討しているのでしば
委員	らく待って欲しい、今年度中に教育委員会の考え方を示すというような回答だ
委員	った。戸原の住民からどうなっているのかという声が上がリ、12月に会長に相
委員	談した。戸原地区としては、市の計画の認定こども園を「城下地区に1施設、
委員	戸原地区に1施設」の方向で意見がまとまり、戸原保育所の存続と早期新築移
委員	転に関する委員会を自治会、老人会、婦人部、民生委員、小学校のPTA、保育
委員	所の保護者会で立ち上げることを説明した。12月には戸原保育所の存続につ
委員	いての検討委員会を立ち上げ、戸原地区で協議をしてきた結果、市に陳情するこ
委員	とに決めた。1月7日に会長とともに市と協議し、この委員会での理解も必要
委員	であると判断した。宍粟市の南の玄関口に、市のモデルとなる認定こども園を
委員	早期に新築移転をしていただくように1月中に戸原地区全住民が署名をして、
委員	また臨時に保育所保護者会の総会をし、それぞれの立場で陳情書を作り、1月
委員	12日に市長、教育長宛に提出した。戸原保育所の老朽化と新築移転、用地の確
委員	保など、戸原としての固有の課題もあることから、本日の委員会で合意を得た
委員	く今までの取り組みを説明させていただいた。
委員	第2回目の時に市としての今後の展望というものをしっかり示して欲しいと
委員	お願いした。市としてビジョンが示せるようであれば第3回を行うということ
委員	で第2回目を終了した。第3回目の前に副会長から、幼保一元化の前に旧町時
委員	代からの要望で保育所を建替えして欲しいと陳情しており、それを何とか早く
委員	解決していかないことには戸原の保育所が老朽化して危険である。幸いにも用
委員	地も確保できた。幼保一元化の話を脇に置いておき、先に保育所を立てること
委員	で皆さんの了解を得たいと相談された。山崎南中学校区については2案あり、
委員	1つは城下と戸原で1つの認定こども園を作るプランで、もう1つは城下地
委員	区、戸原地区の2か所に別れて認定こども園を展開するプラン。認定こども園
委員	の機能を見据えた上で戸原保育所を開設するということになるかと思う。こ
委員	のこのことについて市の説明をお願いしたい。
事務局	本来なら本日、前回の委員会を踏まえ市としての明確な考え方を示さなければ
事務局	いけないところなのだが、市としては幼保一元化計画の中で、この地域に1つ
事務局	設置する案と、戸原と城下にそれぞれ1つ設置する案をお示ししている。この
事務局	委員会において、この地域での方向性について概ねの理解を得る中で、具体
事務局	的な考え方をお示ししていきたいということで正副会長と協議をさせていただ
事務局	いた。そういったことで本日は協議をお願いしたい。
委員	何か質問はないか。政権が交代し、民主党が示していた総合こども園案が廃案
委員	になり、認定こども園を拡充することになった。市も保育所、幼稚園の両方の
委員	機能を持った認定こども園の開設を目指していきたいということである。ネッ

委員	トで調べると、認定こども園の問題点が出ていたり、逆に文科省のホームページでは認定こども園の未来はバラ色となっている。それを見極める力がなければいけない。望ましい認定こども園になるように積極的な意見を賜りたい。前回の委員会で市の方から具体的な案を出して欲しいと発言した。戸原地区の事情を知らなかったし、まだ知らない方もたくさんいる。この話は委員会の主旨と違うのではないか。今までの2回の委員会はなんだったのかという話になる。戸原地区の話に賛同してほしいということなのか。
委員 委員	戸原には幼保一元化の話が出てくる前からの過去の状況、経緯がある。それはこの委員会ではなく、行政と協議して解決していかなければ前に進まないのではないのか。
委員	過去の経緯があるので1度委員会での話を止めて、了解してもらえないかというお願いになるのだと思う。
委員	これまでの2回の委員会で一度もその話が出ていない。行政懇談会での市の回答とも違う気がする。前回の会でその提案が市から出ていけば違った会議になっていたかも知れない。これで解決していくのか。
事務局	山崎南中校区で認定こども園を設置させていただきたい、そのための議論をいただくのがこの委員会だと思っている。1回目の委員会では認定こども園とはどのようなものか説明し、DVDも見ていただき、2回目でも市としての具体的な提案をして欲しいという意見をいただいた。市としても示したいとの回答をしたが、今回もお示しできないでいる。ただ、基本の部分では南中校区で認定こども園の設置に向けた協議を地域の方とさせていただきたいという姿勢は同じである。どういう課題があるのか、どういうこども園を目指すのかといった議論をお願いしたい。
委員	市としてはOKを出すのか、出さないのか。ここで戸原と城下で別々に施設を作っていくという結論ができればOKを出すのか。それとも市としては南中学校区に1つの施設をあくまで作る考えなのか。
事務局	今、委員会で2か所の施設を作るということで合意ができれば、事務局としてはその方向を尊重して進めたい。
委員	行政懇談会で、戸原自治会長からの質問の回答では、本年度中に回答、方向性を出すとされている。ここで事務局から2か所できると言われるとそれが回答になるのではないか。
事務局	旧町時代から取り決めがあるということならば、戸原地区に1つ作って欲しいということになる。そうすると城下は別になる。戸原で、言われる土地に建てるということでもいいのか。
事務局	2つの案のある基本計画については既にお示ししている。この委員会での合意を受け、正式に教育委員会として決めさせていただきたい。
委員	市は地元の意向をできるだけ尊重したいということで聞いている。城下で1か所、戸原で1か所の認定こども園を作りたいという方向でどうか。公立か民営かは大きな問題であるのでそれは一旦置き、地元のことを考えて市としても対応していきたいとのこと。城下、戸原で別々に話し合いをしたらいいと思うが、学校規模適正化という問題も抱えていることもあり中学校区で会合を持っている。戸原としては保育所の問題は過去から抱えている問題なので、城下とは別で考えさせてもらうことについて了承を得たいということだと思う。
委員	城下地区が賛成したらこの話は結論が出るということか。

委員	<p>地元の意見を尊重する方向で話を持っていきたい。その中で最も望ましいこども園を作るにはどうしたら良いのか。知恵を出していくことで市側へも反映されると思う。戸原の保育所を建てるとなれば、将来、幼稚園機能を付加していく設備、施設なども含めて建設されるのか。</p>
事務局	<p>宍粟市の計画では幼保連携型の認定こども園を目指している。戸原で認定こども園を建設しようとするれば、初めから保育所機能、幼稚園機能を持ち合わせた施設を建設することになると思う。戸原地域は幼稚園がなく、保育所で教育・保育がされてきた経過がある。幼保一元化となると、保育所にない広い園庭や遊戯室を兼ね備え、幼児教育ができる施設をつくっていくことになる。</p>
委員	<p>0歳児から5歳児までを預かるこども園になる。保育所の部分を含めると人数が集まるが、幼稚園部分だけだとバラバラと減ってしまう。城下幼稚園が典型的な例だと思う。将来的に子どもの人数がどれくらいになってくるか、市として考えておく必要があると思うがどうか。</p>
事務局	<p>戸原は50～60人程度、城下は120人程度と考えている。3、4、5歳は幼児教育をし、0、1、2歳はしっかりお預かりをしていく。今の戸原保育所の入所児童数は3歳が7人、4歳が10人、5歳が8人である。その中で揖龍地域に預けられる子どもの数を加味し、15人から20人でクラス編成できれば望ましい人数になるのではと考えている。</p>
委員	<p>城下幼稚園では入園してくる人数が予想の半分ぐらいだったと聞いた。近くの保育所に通っている子どもが、幼稚園年齢になったら親の実家に帰ってしまうということが多く、城下幼稚園に入園しなかった。小学校は小学校で、新入学する人数が少なく、2クラスできる予定が1クラスしかできなかったと聞いた。入学する人数が予定どおりにいかない。都市部では入りたくても入れない子ども達が非常に多いが、田舎はガラガラで、子どもが少ないので行事をしようとしても人数が足りない。そのようなところが問題になっている。</p>
委員	<p>現役世代の方々が希望を言っていないといけな。幼稚園、保育園に通う保護者の意見をもっと考慮した方が良いのではないかと。仕事があるから保育園に預ける人もたくさんいる。その年代の保護者に意見を聞いたほうがいい。</p>
委員	<p>戸原で1つ、城下で1つ作ることで決定するのか。それとも城下と戸原で1つにするのかをまず決めていただきたい。戸原地区で地元でこども園を作って欲しいという要望があるのならば、城下は反対しないので、この委員会で戸原に作ることを承認することについて採決していただきたい。</p>
委員 委員	<p>城下は城下、戸原は戸原で地域を分けて作ることでよいかどうか。 市としては1つにしたほうが、予算が少なくすむという思いがあり、戸原から早く結論を出して欲しいといっても市は渋っているのだと思う。2つ作ることを決定すれば、予算化して作る方向で話がスムーズに進むのか、逆に予算化するためには相当時間がかかるため、来年、再来年以降の話になってしまうのか。ここを聞かないといけな。戸原は早急にして欲しいという思いである。</p>
事務局	<p>地域の委員会の方向性の決定は重く受け止めるが、来年すぐに予算化できるとは名言できない。地域の委員会での方向性は非常に重いと考えている。それを受け止め努力をしていく。</p>
委員	<p>城下、戸原で1つにするか、城下と戸原でそれぞれ1つ作るか、挙手を願いたい。 ※城下地区と戸原地区それぞれで作ることで挙手多数。</p>

委員	城下、戸原は別々で進めることに賛成の方が多数なので、戸原は戸原でこども園を開設する方向に1歩前進できたのではないかと思います。戸原保育所は場所が決まっている程度なので、まだまだこれからという段階である。戸原保育所に関することはこれでいいか。
委員	城下と戸原で別々の認定こども園にするとのことだが、開設の時期も戸原は戸原だけで決めていくのか。時期は一緒にしないといけないのか。戸原は今までの経緯があるから先になってもかまわないのか。
事務局	こども園の開設については、地域の方と協議を重ねて最終的に実施時期も決めていく。地域の保育所、幼稚園を閉じて新たにこども園を設置することになるので、協議状況によって時期がずれてくることもあると思う。教育委員会としては皆さんと協議のうえ、なるべく早く実施していきたいが、地域の合意形成があって進んでいくものと考えている。
委員	戸原に認定こども園ができたとして、学校規模適正化の問題に及ぼす影響はどのようなものか。
委員	学校規模適正化についての議論は一旦、棚上げという形にでもしなければ仕方がないかと思う。城下、戸原が1つに集まって協議しているのは学校規模適正化の問題があるからなので、今後、考えていかなければならないことではある。もし一旦棚上げするならば、時期はずらして協議することになると思う。
委員	以前、幼保一元化を先に実施して、小学校で別々になり、また中学校で一緒になるようなら、最初から一緒になったほうがいいのではと言ったところ、事務局からも同時期でよいという回答だったと思う。しかし、行政懇談会では、幼保一元化の方が先だという答弁をされており、一貫性がない。場所場所で説明が違ふと何が本当のことなのか分からない。
事務局	どの地域でも幼保一元化と学校規模適正化を同時期に実施するのが望ましい、地域の子どもを認定こども園から小学校に繋げていける、ということでお願いをしている。ただ現実的にはなかなか難しい状況がある。一方で戸原地区では老朽化した保育所という課題があり、幼保一元化を先にしていくという行懇での答弁だったと思う。幼保一元化の話が進み、学校規模適正化の話が進まない場合は、別れて協議を進めていくことも考えられると思うが、今後は一貫した考え方で進めていきたいと思う。
委員	幼保一元化について他に意見はないか。
委員	戸原保育所の老朽化の話は聞いていた。戸原と城下で別々に認定こども園を作る話になったので、この委員会として戸原を早くして欲しいと決議したら、戸原も早く進むと思う。
委員	市としてはどうか。戸原地区としては早く進めて欲しい。
事務局	この委員会で早くして欲しいという意見は重く受け止めるが、この場でいつから実施するかは申し上げられない。この委員会での決定を受け、今後、いつからというようなプランを示していきたい。
委員	戸原で認定こども園をオープンする時期に城下でも一緒にオープンするのか。足並みは揃えるのか。
委員	それは確定できないという話だと思う。
委員	戸原の話が流れるということになったらどうなるのか。
委員	戸原の話が流れるということにはならないだろう。市も確約している。早いか遅いかは分からないが確約はされていることだと思う。

委員	戸原としてはずっとと言ってきていたが、なかなか実現できず、この度陳情書を出すことになった。ここまで決まってきたので、来年度にでも予算化してもらい、平成26年度に建てて、27年の春にでも入学できるよう市にお願いしたい。
委員	外部の事情も変わってきている。自民党から民主党に変わり、文科省の考え方も変わっていている。宍粟市がビジョンを描くことも難しいだろうと思う。
委員	第1回、2回目で民営化について説明があったが、民営化に反対して公立でということになったら、建替えの話は止まってしまうのか。私立がダメとは言わないが、私立があって公立もあってというのがいいのではないかという保護者の意見が多かった。
委員	民営化のデメリットはネットで調べるとたくさん出ている。都市部の保育所では、パートの方が多くの子どもを抱えて、長時間、低賃金の労働条件で働かされるという劣悪な労働環境の報告もある。それで本当に子ども達に良い教育がされているか疑問を持つことが多い。
事務局	他の委員会でも私立か公立かという話が出る。地域の委員会で公立でとなれば、市は公立でしてくれるのかという質問だと思うが、地域の委員会で公立で欲しいということでもとまったとしても、市としては公立ですることは難しいとお答えしている。不安があるならば、それについて議論を重ねる中で社会福祉法人で良いのではないかと理解していただけるように、丁寧に説明し、課題をクリアしていくことが行政の責務だと思っている。
委員	受け入れする地区について、今は保護者の就労の都合で揖龍や他の地域の方も利用されているが、認定こども園になるとそういった場合も受け入れてもらえるのか。
事務局	現在、保育所においては保護者の就労の都合で市外からの受け入れもしている。認定こども園は認可をとった保育所、幼稚園が1つになった施設であるので市外の方も受け入れはできる。現行と変わらない。
委員	時間はどうなるのか。閉園時間ぎりぎりに迎えに来られる保護者もいる。
事務局	時間については第1回目の委員会で子どもの1日の流れの標準的な時間を示しているが、具体は保護者のニーズ等を考慮しながら、地域、保護者、運営主体、市が一緒になって協議して地域で決めていくことになる。
委員	次回の開催日は戸原地区の進捗状況により決めていきたい。学校規模適正化についてはしばらく議論を棚上げするというので、何回かとぼしてはどうか。
委員	先に戸原の話が進むのであれば棚上げしてもいいのではないか。
委員	それで良いか。では学校規模適正化についての協議はしばらく棚上げする。幼保一元化については戸原、城下地区でそれぞれ考えていきたい。
委員	本日、決まったように幼保一元化については2つに別れて進めていき、学校規模適正化については置いておくことになるが今後もよろしく協議をお願いしたい。